

マツダの革新

～ロマンとソロバン～

参加費
無料

2020.1.25[土]

受付 14:30～ 開演 15:00～ (2時間)

会場 呉阪急ホテル -安芸の間-

講演内容

マツダは1960年代から総合自動車メーカーを目指し、様々な特色のある技術と商品を世に出す一方で、度重なる経営危機に見舞われてきました。1996年からのフォードによる経営の下、ブランド価値の再定義からの再出発を図り、2001年から「zoom-zoom」戦略を展開しました。2006年に策定した「2015年ビジョン」に基づき「サステイナブルzoom-zoom宣言」を公表する一方で、全社を挙げて「モノ造り革新」に取り組みました。これらの結果生み出された「SKYACTIVE技術」や「魂動デザイン」は、2012年発売のCX-5以降の商品群に全面採用され、世界の多くのお客様から好評を博しました。

これら一連の経緯を振り返ると共に、主に2000年以降の取り組みの背景となった考え方やプロセスを紹介します。

講師プロフィール 金井 誠太 氏

1974年マツダに入社以来、一貫して開発畑を歩み、車両コンポーネント開発本部長、常務執行役員、専務執行役員、副社長、会長などを経て、2018年6月から相談役。主査を務めた2002年発売の初代「アテンザ」は、世界的な評価を獲得した。2005年から開発部門の責任者となり、「マツダモノ造り革新」を主導し、そこから生まれた「SKYACTIVE技術」や「魂動（コドウ）デザイン」をまとった2012年発売のCX-5以降の商品群は、世界中から好評を博した。在広島メキシコ合衆国名誉領事



申し込み方法は裏面をご覧ください▶▶

～講演者インタビュー-書籍のご案内～

モノ作り革新を技術・風土改革から金井誠太元会長が語る
『マツダ 心を燃やす逆転の経営』

「今に見ちよれ」——。拡大戦略が失敗し、
値引き頼みのクルマ販売で業績は悪化、
経営の主導権を外資に握られ、リストラを迫られる。
マツダが1990年代後半に経験した“地獄”のような
状況の中、理想のクルマづくりに心を燃やし、
奮闘した人々がいた。

復活のカギ「モノ作り革新」の仕掛け人、
金井誠太氏（マツダ元会長）が
フランクに語り尽くすマツダ復活への道。
改革に使われた数々の手法の詳しい解説コラム付き。

著者:山中 浩之 出版社:日経BP
Amazon売れ筋ランキング
自動車・機械部門第1位(2019/5/11付)



心を燃やす逆転の経営
マツダ

講演詳細

日時 ▶▶ 1月25日(土)

時間 ▶▶ 15:00 ~ 17:00

会場 ▶▶ 呉阪急ホテル (JR 呉駅徒歩1分)

参加費 ▶▶ 無料

申込期日 ▶▶ 12月27日(金) 受付締切

定員 ▶▶ 200名

申込方法 ▶▶ お電話、FAX、メール

下記申込書にご記入の上、メールまたはFAXで
お送り頂くか、またはお電話でお申込みいただけ
ます。メールでのお申込はPDFにて
m-dounosaki@horie-hmc.co.jp まで
お送りください。

申込先電話番号およびFAX番号

TEL (0823)-22-0123

FAX (0823)-21-5739

参加申込書

貴社名
ご参加者様 (複数名記入可)
受講票送付先 (ご住所) 〒 _____ 都道 府県
Tel :
E-mail :



税理士法人堀江会計事務所
株式会社エイチ・エム・シー
株式会社エイチ・エム・シーコンサルティング
行政書士法人 Gift Design

〒737-0051
広島県呉市中央3丁目5番13号 HMCビル3階
TEL : (0823)-22-0123 FAX : (0823)-21-5739

担当：青木、澤田、堂野崎